

学科名	生物環境化学科							
科目名	物質分析法							
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	3年前期			
必修・選択の別	選択科目(バイオサイエンスコース)／選択科目(食品生物資源コース)／選択必修科目(エネルギー・環境コース)							
担当者	菅野 憲一							
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な科学の知識を使うことができる。 ・各危険物の適切な消火方法を修得している。 ・指定数量の倍数を計算できる。 ・危険物の性質や貯蔵、運搬、取扱いについて説明できる。 ・製造所等の種類、基準に関する知識を修得している。 ・燃焼と消火に関する知識を修得している。 ・危険物1類から6類までの性質を説明できる。 ・危険物に関連する法令を修得している。 							
日程と内容	<p>9/27第1回 導入講義(授業の進め方と概要の説明、成績評価法)、消防法の定める危険物の概要 10/ 4第2回 危険物施設の区分と危険物取扱者 10/11第3回 製造所等の保安と予防 10/18第4回 製造所等の技術上の基準 10/25第5回 貯槽、取り扱いの基準 11/ 1第6回 運搬の基準 11/ 8第7回 消火設備の基準 11/15第8回 グループワーク／危険物と製造所等に係る種々の基準 11/22第9回 危険物に関連する科学1 物理 11/29第10回 危険物に関連する科学2 化学 12/ 6第11回 燃焼のメカニズムと消火方法 12/13第12回 第1類および第6類に分類される危険物 12/20第13回 第2類および第4類に分類される危険物 12/24第14回 第3類および第5類に分類される危険物 1/10第15回 グループワーク／危険物の性質 1/17 定期試験</p>							
成績評価基準	定期試験	100%	実技	0%	臨時試験	0%	部外評価	0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%	課題	0%		
	演習	0%	計	100%				
授業到達目標の達成度	定期試験を受験した受講生の合格率は95%と高く、また、不合格者も含めた平均点は77点であることから、概ね達成できたと判断できる。							
反省点	合格率を向上するために演習問題を解くなどした。定期試験を受験した受講生の合格率は95%であった。また、合格者の平均点は77点であった。この講義は甲種危険物取扱者資格対策になっているが、あまり資格取得に興味をもていただくことはできなかった。							
来年度の計画	次年度も高い合格率を維持できるよう、座席を指定し講義に集中できる環境を作りたい。演習を増やすなどの工夫をしたい。また、就職対策などのためにも、国家資格取得に興味を持ってもらえるように工夫したい。							
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価の平均は8.5であり、昨年度の7.5と1.0ポイント上昇した。履修登録は決して多くはなかったため、講義をすすめるやすかった。その一方で、資格取得に積極的になってもらうことができなかった。							
履修登録者数	23名	定期試験受験者数	20名	合格者数	19名	合格率	95%	